

《平成26年度事業計画》(案)

1. 基本方針並びに重点事項

新公益法人制度改革による公益認定を昨年度受け、公益社団法人として法人会の基本的指針に則り、事業活動を行っていく。又、組織、財政基盤の再構築を図るとともに、事業活動においては、上記新公益法人制度改革を法人会本来の理念と活動に立ち戻る機会と捉え、原点である「税」に関する活動に軸足を置きながら、「法人会の基本的指針」に則り事業活動を充実するため、以下に掲げる諸施策に取り組み「魅力ある法人会」の確立を図る。

(1) 公益目的事業について

【税を巡る諸環境の整備改善等を図るための事業】

[1] 事業の概要について

(事業の趣旨)

当会は、昭和52年に地域の中小企業経営者により設立され、昭和62年2月に熊本国税局より社団法人の認可を取得。創立以来今日に至るまで、正しい税知識の普及、納税意識の高揚並びに中小企業に相応しい税制確立のための提言等の活動を行っている。地域企業により適正な申告と適正な納税が行われるよう、研修会、説明会、講習会、広報活動を行い、税務行政が円滑に執行されることを目的として、国政、地方自治の健全な運営の確保に資する事業を行っている。

[事業の内容]

(1) 税知識の普及を目的とする事業

1 新規法人説明会の開催

新たに法人として設立された企業に対し、必要な諸届けなどの手続き及び事業の開始に際しての法人税法上の留意点等についての理解を促すことを目的としている。阿蘇税務署管内に設立された1年以内の全法人を対象に開催要項を郵送にて案内する。また、本会のホームページにも公開し参加を募って、設立1年以上経過の法人も参加できることとする。年1回の開催で受講料は無料で、講師は阿蘇税務署法人課税部門に依頼する。

2 税務研修会の開催

さまざまな税を研修のテーマに取り上げ、税に関する理解と知識を深めるとともに、正しい税知識をみにつけることを目的に本会、支部、青年部会、女性部会それぞれで企画し開催する。開催要項は本会のホームページに掲載し周知する。誰でも参加できることとし、加えて広報誌に案内を同封し会員に送付し、会員より非会員への告知を行う。講師は阿蘇税務署法人課税部門、または税理士等専門家に依頼する。受講料としては、会員は無料とし、非会員は資料代等実費相当額を徴収する。

(2) 納税意識の高揚を目的とする事業

1 納税表彰式の参加

税務協力団体の活動を積極的に行い納税意識の高揚及び税知識の普及推進に対して永年の功労があった者に対し阿蘇税務署長より、表彰状及び感謝状が贈られる。本会は阿蘇税務関係団体長協議会の一員として出席し一層の納税協力活動の推進者を育成すると共に広く社会に納税の重要性を広報することを目的としている。

2 税金クイズ大会の実施

次代を担う小学生及び中学生を対象に社会に一員として税を身近に感じてもらう、税についての理解と意識啓発を促すことを目的として実施する。クイズの問題については、阿蘇税務署及び税理士等、専門知識を有する者に作成を依頼する。開催要項は阿蘇郡市全家庭に配布される情報誌や各地域のコミュニティセンターの掲示板への掲載、各学校へ郵送し案内する。加えて本会の広報誌に案内を同封し会員に送付し、会員より非会員を通じて広く開催の告知を行う。また、本会のホームページでも掲載し周知する。尚、開催時には税金クイズの参加者以外の見学者、通行人にも税に関する冊子等を無料で配布し広く意識啓発を促す。

3 税に関する作品の表彰

国税庁の「税を考える週間」に合わせ、阿蘇地区税務関係団体との共催により、阿蘇税務署管内の小学生及び中学生を対象に「税」をテーマに作文、ポスター、標語、習字を募集する。募集に関しては各学校に依頼し、応募作品の中から、阿蘇税務署及び共催である阿蘇地区税務連絡協議会の役員にて優れた作品を選考し、毎年11月の税を考える週間に表彰する。表彰式は主催者並びに学校関係者が多数出席し、将来の社会を支える若者に更なる税についての理解と意識啓発の機会を提供する。受賞作品は阿蘇市役所、JR宮地駅に掲示及び展

示し、また当会の広報誌やホームページにも掲載する。

4 絵はがきコンクール

本会を含む熊本県下各法人会（10単位会）それぞれ管内の小学4年生から6年生を対象に「税」をテーマにした絵はがきを募集する。次代を担う児童を対象に「税」についての理解と意識啓発を目的に、毎年1回実施する。本会では毎年100通近い応募があり、本会の役員及び阿蘇税務署により、優秀賞を選出している。上位2点については、主催者である社団法人熊本県法人会連合会へ出品し選考され、更に公益財団法人全国法人会総連合の選考会へと出品される。本会の募集要項は依頼状を阿蘇税務署管内全小学校へ郵送し、また学校を訪問している。優秀作品については、小学校に出向き表彰及び副賞を授与する。

5 ホームページ及び広報誌による税情報の発信

不特定多数が閲覧可能なインターネットによる本会のホームページでは各種研修会、講習会の開催や参加要請を掲載する。さらに、国税庁や熊本県ホームページのリンクを行う等、適宜必要な税に関する情報を提供する。また、本会の広報誌である「阿蘇法人ニュース」は年2回、1回あたり約700部を発行して、会員だけでなく各矯正機関や金融機関等で無料配布を行い、不特定多数の納税者にさまざまな情報提供を行う。

6 税の啓発及び広報活動

税について正しい知識と納税意識の啓発を目的とする事業であり、各地区で開催されるイベント等で、来場者を対象とし税に関する冊子、税啓発及び広報グッズ等の無料配布を実施する。開催要項は、地域で発行されるチラシ等に告知を掲載し配賦及びコミュニティーセンターの掲示板に掲載するなど、より広く周知し、また本会の広報誌及びホームページに案内を行う。

（3）税制及び税務に関する調査研究並びに提言に関する事業

1 税制改正の提言及び提言書の関係機関への提出

公益財団法人全国法人会総連合においては、毎年、中小企業の税負担の軽減と合理化及び簡素化、適正公平な税制、税務に関する提言を行うため、会員から税制に関する意見要望を取りまとめて、税制改正要望大会を行い関係機関に対し要望活動を行っている。本会においても会員から税制に関する意見要望を取りまとめ、社団法人熊本県法人会連合会及び公益財団法人全国法人会総連合

に上申を行っている。なお、税制改正要望大会を開催し、決議された要望事項を有効にするため国及び社団法人熊本県法人会連合会、本会を含む熊本県下各法人会（10単位会）においても熊本市をはじめ諸機関に対し要望活動を実施しており、内容については冊子を配布きたは、本会のホームページに掲載し周知を行う。税制及び税務に関する提言は、会員だけではなくすべての企業に関連した内容となっている。

【地域の経済社会環境の整備改善等を図る事業】

[1] 事業の概要について

[事業の趣旨]

地域の中小企業の経営に役立つことを目的として、会計、経営、労務、法務を中心として研修会を実施することで、より広範囲な学習が可能になり、地域企業の健全な発展に資する事業を行う。中小企業単独では難しい企業の社会的責任を果たすため、団体としての組織力を活用し、業種の特長や専門性を活かして、地域社会への貢献活動を行うことを目的としている。

[事業の内容]

(1) 地域企業の健全な発展に資する事業

1 実務セミナーの実施

地域企業の健全な発展を目的とし、阿蘇税務署管内の全法人を対象に、参加者が「すぐに業務に活かすことのできる」をモットーに、税務、会計、経営、法律等の様々なテーマを設けて開催する。内容は、受講者からの要望を取り入れ、本会の研修委員会において検討を行い決定する。開催要項は本会のホームページに掲載して周知し、誰でも参加できることとし、非会員にも広く参加を呼び掛ける。講師には、税理士、公認会計士、経営コンサルタント、弁護士等に依頼する。

(2) 地域社会への貢献を目的とする事業

1 献血キャンペーン活動

熊本県日本赤十字血液センターと連携を取り、主に毎年一番血液が不足する冬場に本会の青年部会が中心となり実施する。開催日は、本会のホームページに

掲載して周知を行う。また阿蘇税務署などの公的機関を含め、事前に会場付近の企業へチラシの配布をし、当日は通行人に呼び掛けもするなど、広く一般に呼びかけている。

2 小学校及び中学校への書籍等の寄贈

これからの社会を担っていく児童及び生徒の教育促進の一助になる事を目的とし、阿蘇税務署管内の小学校及び中学校に対して図鑑等の図書及び本棚等の寄贈を実施する。

<対象者>阿蘇税務署管内の小学校及び中学校

3 地区のまつり（イベント）への参加

阿蘇税務署管内の各地域によるまつり（イベント）は、地域の活性化及び地域振興と居住者の交流を目的として様々な行事が開催されており、本会としては税情報をはじめ様々な地域情報の提供の場として、金銭的支援をはじめ、来場者に対し税に関する冊子等の無料配布を行うことを地域社会の貢献と位置づけている。開催要項は、地域で発行されるチラシ等に告知を掲載し配布、コミュニセンターの掲示板などへの掲載により広く周知する。会場は各まつり（イベント）の主催者が使用する公園や施設の一部を無料で借用する。

4 福祉施設入居者との交流

阿蘇税務署管内の福祉施設に入居されている方との交流を深めることを目的としたボランティア活動を本会の女性部会が中心となり、未使用のタオルやお菓子等を持ち寄り、老人ホーム等へ慰問を行う。

5 講演会の開催

文化、芸術及び地域の産業などの多岐に渡った内容にて、「税を考える週間」に講演会を実施する。これからの次代を担っていく子供たちに夢と希望を与えられるようにと、知名度がありまた興味の湧くような著名人の体験談などや、現在の社会情勢及び経済などを主な講演の内容とする。参加料は無料で、開催要領は地域住民へチラシの配布及び本会のホームページにて掲載し開催の告知を行っている。

(3) その他の事業(相互扶助事業) について

①会員の交流及び会員支援のための事業

1. 新年賀詞交換会

社団法人熊本県法人会連合会が主催し、地域企業の経営者が集い交流することを目的とする。

2. 通常総会終了後の懇親会

通常総会終了後に、通常総会において承認された事業計画等の事業実現に向けた意思統一を図る事、また会員相互の親睦を深め情報交換及び名刺交換などの異業種交流が目的である。

3. チャリティゴルフ大会

社団法人熊本県法人会連合会の主催により年1回開催。会員相互の親睦を深めると同時に参加者からチャリティ募金を徴収し福祉団体等に寄贈している。又、本会の主催でも年1回開催しており、これも会員相互の親睦を図ることはもとより、参加者からのチャリティ募金を阿蘇税務署管内市町村の社会福祉協議会へ寄贈している。

4. 交流親睦会

会員研修等の終了後に各会員の親交を深め、異業種交流を図ることを目的としている。

②その他の事業(相互扶助事業) について

1. 事務受託事業

阿蘇税務署管内の11名の組合員で構成される阿蘇たかな漬協同組合(以下、「組合」という。)は、阿蘇特産の阿蘇たかな漬を製造し全国に向け販売している。「阿蘇たかな漬」は地域の特産品として、平成19年1月に特許庁より地域ブランドとして商標認定を受けている。本会としては、地域の漬物業者、生産農家の活性化のために事務処理の一部を組合より受託している。尚、組合員の殆どが本会の会員であり、事務受託料は年間15万円である。

2. 本会事務所の一部提供

大同生命保険株式会社が、当該会社の阿蘇地区担当推進員の連絡場所及び推進の拠点として活動するために、本会より本会事務所の一画を月額2万円を提供している。